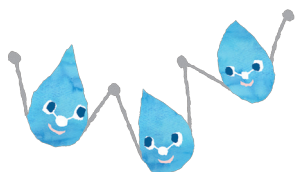


GOOOOO!!!



ゲリラ豪雨展

巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」



「ゲリラ豪雨」って何だろう？

その仕組みと恐ろしさを体感して、
危険から身を守ろう！

【開催館】荒川知水資料館 (amoa) 2階企画展スペース

【開催期間】平成25年12月3日(火)～平成26年1月19日(日)

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)及び年末年始

※年末年始：平成25年12月24日(火)～平成26年1月6日(月)

【開館時間】9:30～16:30

【主催】国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所

【企画制作】水の巡回展ネットワーク 【協力】NPO法人気象キャスターネットワーク、ファンザ ミューズ
東京学芸大学環境教育研究センター、東京学芸大学グラフィックデザイン研究室

【展示内容】ストーリー展示(ゲリラ豪雨発生から収束)、解説パネル展示、河川の増水等の映像展示、
聞き雨展示、雨の重さの体験展示等。



国土交通省

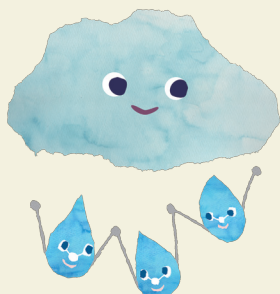


この巡回企画展は、公益財団法人 河川財団の河川整備基金の助成を受けています。

GOOOO!!!

ゲリラ豪雨展

巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」



■ 巡回企画展「ゲリラ豪雨に備えて」

「ゲリラ豪雨?」「1時間に30ミリの雨?」。聞いたことはあるけど上手く説明できない雨の現象や防災のポイントについて、わかりやすく紹介します。

水は私たちの生活にとって欠かせないものですが、私たちの生活に大きな影響を及ぼすこともあります。ゲリラ豪雨による河川の急な増水によって、多くの人の命が失われたことは、みなさんの記憶にも新しいことでしょう。

この企画展では、「ゲリラ豪雨の発生から収束」を学校帰りの小学生の行動をたどるストーリーで、また「雨の降る仕組み」や「ゲリラ豪雨と集中豪雨の違い」、「身を守るためのポイント」を図解でわかりやすく展示しています。他にも映像でみる「ゲリラ豪雨の影響」や「雨つぶのかたち」、「降った雨の重さ」を体感できるコーナーなどもあります。

雨の大変さや怖さをあらためて認識し、危険を察知するために大切なことは何なのか、みんなで一緒に考えてみましょう。

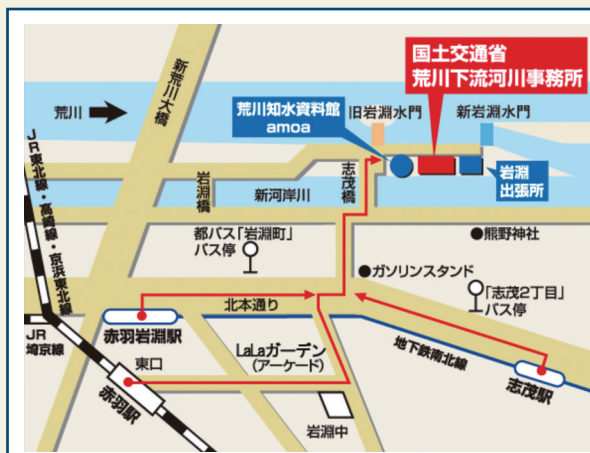
フィクションドキュメンタリー 「荒川氾濫」常時放映中!

もしも未曾有の大雨によって、荒川の堤防が決壊した場合、どのような被害を及ぼすのかを資料映像やCG映像によって、フィクションドキュメンタリーとしてとりまとめました。

堤防決壊のメカニズムや水害時の避難先などの防災知識をわかりやすく提供しています。



■この展示の企画制作：この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク(JAWANET)」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。



ARAKAWA MUSEUM OF AQUA 荒川知水資料館

【住所】〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1

【電話】03-3902-2271

【交通】●JR赤羽駅(東口)より徒歩約20分

●JR赤羽駅より都バス「豊島5丁目団地」行き「岩淵町」または「志茂2丁目」下車、徒歩約10分

●地下鉄南北線赤羽岩淵駅または志茂駅より徒歩約15分

【HP】<http://www.ara.go.jp/amo/index.html>

